

[抄録様式]

公益財団法人 8020 推進財団 令和元年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1. 事業名:	要介護者、障害者(児)等歯科保健医療サービスを受けることが困難な者を対象とした口腔ケア、口腔機能向上に関する事業
2. 申請者名:	会津若松歯科医師会 会長 桑原 英俊
3. 実施組織:	会津若松歯科医師会
4. 事業の概要:	<p>福島県会津医療圏は、約 25 万人の規模で高齢化率は約 29%と全国平均より高く高齢化がすすんでいる。今後、更なる高齢化が予想され、歯科診療内容のニーズもそれに伴い訪問診療やオーラルフレイル予防、嚥下障害患者への対応など変化してきている。それに対して、H29 年度より基幹病院である会津中央病院歯科口腔医療センターが地域歯科診療所に向けて、病棟・施設での口腔衛生管理及び嚥下機能評価を含めたオーラルフレイルの評価、口腔機能向上訓練の研修を開始し、今年度も継続した研修を行った。</p>
5. 事業の内容:	<p>H29 年度、H30 年度に引き続き基幹病院である会津中央病院歯科口腔医療センターにて研修を施行した。専任歯科医師、専任歯科衛生士が講義、実習形式でのオーラルフレイルの検査、嚥下機能評価(反復唾液嚥下テスト、改訂水飲みテスト等)、訓練(咀嚼訓練、氷なめ訓練、頭部挙上訓練等)を指導し、2 回目以降の実習では VE 検査など開業医では習得しづらい検査も実践してもらった。また、昨年度より開始した会津中央病院の関連施設に対する訪問診療に同伴してもらう開業医での訪問診療や往診を想定した研修を継続した。さらに、今年度より H30 年度の保険改正より算定可能となった口腔機能低下症の診断に用いられる検査(口腔乾燥、口腔衛生状態不良、口腔乾燥、咬合力低下、舌口唇運動機能低下、低舌圧、咀嚼機能低下、嚥下機能低下に関する検査)についての器具の使用手法や手技の習得を追加して実習をおこなった。</p>
6. 実施後の評価(今後の課題):	<p>今回のべ 2 施設の歯科診療所から 1 名の歯科医師と 2 名の歯科衛生士が口腔衛生管理実習付き研修会に参加した。またのべ 3 施設の歯科診療所から 7 名の歯科医師(複数回参加も含めて)と 2 名の歯科衛生士が摂食機能療法実習付き研修会に参加した。さらに 2 施設の歯科診療所から 2 名の歯科医師と 2 名の歯科衛生士が訪問診療実習つき研修会に参加した。そして、口腔機能低下症検査に関する研修はのべ 3 施設の歯科診療所から 3 名の歯科医師と 4 名の衛生士と 1 名の助手が参加した。受講した施設は現在、訪問歯科診療を積極的に行っている歯科診療所が多く、とても充実した研修が行えたという意見が多かった。また、複数回研修する歯科医師もおり、そういった歯科医師にはより専門性の高い見学及び実習を行ってもらった。昨年度より開始した訪問診療実習付き研修の参加者が昨年度よりも多く、今後さらなる参加者の増加を期待したい。</p>